

教師自らの指導を振り返りながら指導の質を高めるために、指導と評価の一体化をめざして、学習指導の改善を図ると同時に、学習評価の工夫改善を進めることも重要です。学習目標に照らした評価規準を設定するだけでなく、**具体的なめざす子どもの姿や努力を要する状況(C)と判断される子への手立てを考える**ことで、学習目標を達成した子どもの姿を評価することが可能となります。

小学校生活科 第1学年 わたしのアサガオの例

1 単元・題材目標に照らして、評価規準を設定する。

【動植物の飼育・栽培】の評価規準の設定例

生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気付き
<ul style="list-style-type: none"> 身近な動植物に関心をもって関わろうとしている。 動植物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって、世話をしようとしている。 育てている動植物に心を寄せ、繰り返し関わろうとしている。 生き物に親しみを持ち、生き物を大切にしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 育ててみたい動植物を選んだり決めたりしている。 動植物の育つ場所、変化や成長について考え、世話を工夫している。 動植物の立場に立って考え、世話を工夫している。 育ててきた動植物との関わりを振り返り、自分なりの方法で表している。 	<ul style="list-style-type: none"> 動植物の特徴、育つ場所、変化や成長の様子に気付いている。 育てている動植物に合った世話の仕方があることに気付いている。 生き物は生命を持っていることや成長していることに気付いている。 生き物への親しみが増し、上手に世話ができるようになったことに気付いている。

1 単元の目標

アサガオなどを栽培する活動を通して、アサガオの変化や成長の様子に気付き、植物を大切に育てることができるようにする。

2 単元の評価規準

生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気付き
アサガオなどの植物が育つ場所、その変化や成長の様子に関心を持ち、アサガオなどの植物を大切に育てようとしている。	アサガオなどの植物を育てることについて、アサガオの立場に立って考えたり、世話を工夫したり、関わりを振り返ったりして、それを自分なりの方法で表現している。	アサガオなどの植物は生命を持っていることや成長していること、それに合った世話の仕方があること、及び世話ができるようになった自分に気付いている。
身近な植物に関心をもって関わろうとしている。	①育ててみたい植物を選んだり決めたりしている。	①アサガオに合った世話の仕方があることに気付いている。
アサガオの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって、繰り返し関わろうとしている。	②アサガオの変化や成長について考え、アサガオの立場になって世話を工夫している。	②アサガオは生命を持っていることや成長していることに気付いている。
	③育ててきたアサガオとの関わりを振り返り、自分なりの方法で表している。	③アサガオへの親しみが増し、上手に世話ができるようになったことに気付いている。

2 評価規準を「指導と評価の計画」に位置付ける。

ポイント

◆国立教育政策研究所の「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料」を参考とする。

3 本時の学習過程にめざす子どもの具体的な姿（おおむね満足できる状況等）の目安を示す。

ポイント

◆学習目標と評価が対応している。
◆具体的なめざす子どもの姿や評価方法としての評価資料を考えることで、子どもの変容した姿の見取りが可能となる。

3 指導と評価の計画（16時間）

小単元名(時数)	主な学習活動	評価規準	評価方法
2	【小単元の目標】アサガオの変化や成長の様子に関心を持ち、アサガオの成長を楽しみにしながら観察や世話を続けようとする。		
7	○アサガオの育つ場所、変化や成長の様子を観察し、世話をしようとする。	関②：アサガオの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって、繰り返し関わり世話をしようとする。	主に行動観察や観察カード
	○天候やアサガオの成長の様子に合わせて、世話を工夫する。	思②：アサガオの変化や成長について考え、アサガオの立場になって世話を工夫している。具体的事例②	主に観察カード

○めざす子どもの具体的な姿と評価方法・資料

- アサガオのツルの成長に合わせて、支柱を立てている。（観察カード、行動観察）
- 天候や土の様子を見て、水やりをしている。（観察カード、行動観察）
- 友達のアサガオと比較しながら、観察をしたり世話をしたりしている。（観察カード、行動観察）
- これまでの栽培経験を生かして世話をしている。（観察カード、行動観察）
- 世話の仕方を人に聞いたり本で調べたりしている。（観察カード、行動観察）

小学校国語科 第3学年 「はたらく犬」 についてのしょうかい文を書こうの例

- 本時のねらい 「人間の言うことに従う訓練」の具体例を読み取ることを通して、分かりやすい表現の工夫に気づき理解することができる。

- 準備 ワークシート 板書用写真
- 本時の学習過程(5/12)

学習活動	○主な発問・予想される児童の反応	・留意点◎評価規準□見取る視点※手立て
1 前時までの学習を振り返る。	○前時に学習した「しつけ」と「訓練」は、どこが違っていましたか。 ・しつけは、生まれてすぐ始まる ・しつけは人間とくらすためにする ・訓練は、盲導犬になるために始まる	1 「しつけ」との違いを確認することによって、本時に学習する「訓練」に対するイメージを持つことができるようにする。
2 本時のめあてを確認する。	○「きびしい訓練をするなんて、大変だ。すごいな。どんな訓練かな。」という感想がありました。くわしく読み取りましょう。	2 子どもたちが書いた初発の感想を紹介することで、子どもたちの意欲を高める。

読む人がわかりやすい紹介文を書こう ～見つけよう、考えよう、書いてみよう～
「人間の言うことにしたがう訓練」について読み取り、わかりやすい表現の工夫を見つけて使ってみよう

- 3 「人間の言うことにしたがう訓練」について読み取る。
・P510 4～P520 6 までを音読する。
・書いてあるところを探して読み取る。
・ペアで確認する。
・「きびしい訓練をするなんて、大変だ。すごいな。どんな訓練かな。」という感想がありました。くわしく読み取りましょう。

- 3 一人一人の子どもが、教材文とじっくり向き合い、自分なりの考えをもつことができるように時間を設定し、作業が進まない子どもには、一緒に読むなどする。
・ペアで確認することによって、友達との読みと比べたり、付け加えたりできるようにする。
・自分の身に置き換えて、動かずにじっとしていることがどれほど苦痛であるか、実感として捉えることができるように体験をさせる。

ポイント

- ◆評価方法として大事な言葉を「見取る視点」として示す。
- ◆努力を要する状況(C)と判断される子への手立てを具体的に示す。

◎「人間の言うことにしたがう訓練」の具体的な例について正しく読み取っている。

□(見取る視点)
・「ゴー」「ストップ」「シット」「ウエイト」を見つけている。(ノート、ワークシート、発言)

※「従う」という意味を説明し、文を読みながら、一緒に探す。

小学校外国語活動 第5学年 食のみやこ鳥取県とりっこバーガーを作ろうの例

- 本時のねらい とりっこバーガーのプレゼンテーションを発表したり、聞いて分かったことに反応したりする。
- 本時の評価規準 グループで協力しながら工夫してプレゼンテーションを発表をしたり、友達のプレゼンテーションで分かったことに反応したりしている。
- 準備 食材カード とりっこバーガーの完成図 自己評価カード
- 本時の展開 S: Students A: ALT H: HRT

コミュニケーション活動	・留意点 ◎評価規準 □見取りの視点 ※手立て
1 はじめのあいさつをする。 H: Let's enjoy communication in English. H: Please say "Hello." with five friends.	1 学習の始まりに元気よく5人の友達とハイタッチであいさつをするように声をかける。
2 本時のめあてを確認する。	2 プレゼンテーションによりそれぞれのハンバーガーのよさを伝えることを意識させる。

とりっこバーガーのプレゼンテーションを発表しよう。

- ・ ~burger(name)
- ・ Point1(food): We use ~beef.
- ・ Point2(ingredient): I use ~beef.
- ・ Point3(ingredient): I use ~beef.
- ・ Point4(ingredient): I use ~beef.
- ・ Point5(ingredient): I use ~beef.
- ・ Point6(ingredient): I use ~beef.
- ・ Point7(ingredient): I use ~beef.
- ・ Point8(ingredient): I use ~beef.
- ・ Point9(ingredient): I use ~beef.
- ・ Point10(ingredient): I use ~beef.

ポイント

- ◆ねらいを達成した子どもの姿がわかる評価規準にする。
- ◆ねらいを達成しためざす子どもの姿を具体的にいくつか予想して示す。

◎ グループで協力しながら工夫してプレゼンをしたり、友達のプレゼンで分かったことに反応したりしている。

- ・ 身振りやアイコンタクトを交えて伝えている。
- ・ おすすめポイント(食材・栄養・彩り)をはっきりと伝えている。
- ・ プレゼンテーションを聞いて、素早く反応している。
- ・ “please”や“thank you”などを用い、感謝の気持ちを表している。(行動観察)

※ 単語だけでもよいので指差しをしながら相手に伝えるように声をかける。